

事業シート(平成31年度決算)

16_高年介護課_1

事業名	31180 プレミアム付き商品券事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約
			款	3	民生費		まちづくり戦略		
			項	1	社会福祉費		根拠計画		
			目	1	社会福祉費				
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消費税及び地方消費税の引き上げが低所得者及び子育て世代の消費に与える影響を緩和するとともに、地域の消費を喚起する。	概要	・低所得者等を対象に、25%のプレミアム付き商品券を発行 1冊5千円分を4千円で販売、購入限度額1人5冊(25,000円分まで) 商品券使用可能期間 令和元年10月～令和2年3月
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
				409,500	128,416	128,416
特定財源						
国費 (プレミアム付き商品券事業費10/10)				105,500	23,708	23,708
県費 ()						
その他(プレミアム付き商品券事業雑入)				304,000	104,708	104,708
一般財源				0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	プレミアム付き商品券事業			409,500	128,416	128,416

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
査定額	説明		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・平成31年度市民税非課税者及び学齢3歳未満の乳幼児がいる世帯主に対して商品券を販売 商品券販売 延べ5,621人、26,177冊
評価等	・商品券を購入するための資金を用意する必要があることもあり、利用は全国的に低調にとどまった。 ・日常の買い物に利用しやすいよう商品券額面は1枚あたり500円とするなど、消費税引き上げ後の負担増の緩和につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(平成31年度決算)

事業名	31300 養護老人ホーム委託事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	3	民生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	1	社会福祉費		根拠計画		老人福祉計画・介護保険事業計画	
			目	3	老人福祉費					
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(養護老人ホーム等)に措置し、安定した日常生活を送れるようにする。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 入所措置が必要とみなされる方について、老人ホーム入所判定委員会に入所措置等の要否の判定を依頼する。 入所措置判定者を養護老人ホーム等に入所委託する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		148,341	141,883	149,871	149,871	141,286	△ 597
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(負担金(老人保護費))	25,500	25,574	25,400	25,400	25,079	△ 495
一般財源		122,841	116,309	124,471	124,471	116,207	△ 102
個票枝番	主な事業内容						
	老人福祉施設への委託(向陽園ほか2施設)	147,000	141,341	148,900	148,900	140,970	△ 371

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		151,671
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
151,333	151,671	151,671	1,800	
24,116	24,100	24,100	△ 1,300	
127,217	127,571	127,571	3,100	
査定額	説明			
150,700				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 居宅において養護を受けることが困難となった高齢者で入所措置が必要とみなされる方について、老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を11件依頼 入所措置の判定者を養護老人ホームに9名入所委託 延べ入所者数 633人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人・要援護者等への地域福祉体制を整える施策として、有効に機能している。 生活環境の変化や高齢者福祉サービス、在宅及び介護施設サービスの利用等により、在宅で自立した生活を継続できるようになったため、養護施設への入所のニーズは、減少傾向にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 居宅において養護を受けることが困難となった措置が必要な高齢者を把握し、老人ホーム入所判定委員会の結果により入所措置を実施する。 入所者が高齢化し、要介護(支援)者が増加しているため、高山八寿会と連携しながら養護施設で対応できない入所者については特別養護老人ホームへの入所に切り替えを行う。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 居宅において養護を受けることが困難となった高齢者で入所措置が必要とみなされる方について、老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を7件依頼 入所措置の判定者を養護老人ホームに7名入所委託 延べ入所者数 628人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人・要援護者等への地域福祉体制を整える施策として、有効に機能している。 生活環境の変化や高齢者福祉サービス、在宅及び介護施設サービスの利用等により、在宅で自立した生活を継続できるようになったため、養護施設への入所のニーズは、減少傾向にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 居宅において養護を受けることが困難となった措置が必要な高齢者を把握し、老人ホーム入所判定委員会の結果により入所措置を実施する。 入所者が高齢化し、要介護(支援)者が増加しているため、高山八寿会と連携しながら養護施設で対応できない入所者については特別養護老人ホームへの入所に切り替えを行う。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	31305 高齢者在宅生活支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・市民・地域と行政が一体となって推進する協働のまちづくりにより、地域共助を強化し、地域全体で生涯現役世代(高齢者)、介護世帯などを支えられる地域環境の整備を進めます。
			款	3	民生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	社会福祉費		根拠計画		老人福祉計画・介護保険事業計画		
			目	3	老人福祉費						
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・支援が必要な高齢者に対し、日常生活に関する支援を行うことで、在宅での生活を継続することができるようにする。	概要	支援が必要な高齢者に対し、介護保険サービス以外の日常生活の援助を行う。 ・介護保険の短期入所サービスの支給限度額を超えた利用に対する利用者負担の一部償還払い ・簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助 ・指定する施設に短期入所し、日常生活に対する指導・支援を実施 ・認知症高齢者等が事故を起こした場合の賠償金を補償する保険に対する助成(H31～) ・高齢者世帯の屋根の雪下ろし費用の助成(H31～)
----	--	----	---

総会計画等	主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		3,053	2,355	7,555	7,296	2,504	149
特定財源	国費()						
	県費(高齢者在宅福祉事業費3/4)	600	446	600	600	740	294
	その他(軽度生活援助事業雑入、生活管理短期宿泊事業雑入 他)	250	213	550	550	313	100
一般財源		2,203	1,696	6,405	6,146	1,451	△ 245
個票枝番	主な事業内容						
	軽度生活援助	848	545	1,200	941	279	△ 266
	低所得者サービス利用負担軽減	800	694	800	800	1,190	496
	生活管理短期宿泊	400	735	400	400	434	△ 301
◎ 1	認知症高齢者等個人賠償責任保険料			150	150	69	69
◎ 2	高齢者世帯の雪下ろし等に対する助成			4,000	4,000	0	0

4.令和2年度予算編成(Action)

		R2予算	実施計画額	7,671
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
12,954	7,671	7,671	116	
750	600	600	0	
138	390	390	△ 160	
12,066	6,681	6,681	276	
査定額	説明			
1,200				
800				
400				
266				
4,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・短期入所付加サービス:ケアマネを通じた申請や該当者からの直接の申請を受けて助成 1人 ・軽度生活援助:簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助 49人 ・低所得者サービス利用軽減:社会福祉法人が行う介護サービスを利用する低所得者の入所費用自己負担の一部を助成 26人 ・生活管理短期宿泊:指定する施設に短期入所し、日常生活に対する指導・支援を実施 13人	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	・ニーズが少なく利用者が固定化している事業については、事業内容の見直しが必要	
次年度以降の考え方(担当課)	・高齢化の進展に伴い、高齢者世帯や独居高齢者が増加しており、在宅で安心して生活できるよう、ニーズに応じた事業を継続する必要がある。 ・高齢者世帯の屋根雪下ろしに対する助成及び認知症高齢者等を対象とした個人賠償責任保険料の助成事業を開始する。	

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・短期入所付加サービス:ケアマネを通じた申請や該当者からの直接の申請を受けて助成 1人 ・軽度生活援助:簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助 10人 ・低所得者サービス利用軽減:社会福祉法人が行う介護サービスを利用する低所得者の入所費用自己負担の一部を助成 37人 ・生活管理短期宿泊:指定する施設に短期入所し、日常生活に対する指導・支援を実施 9人 ・認知症高齢者等個人賠償責任保険料の助成 54人 ・高齢者等屋根雪下ろし助成 助成決定43世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	・支援が必要な高齢者が安心して在宅で生活できるよう、ニーズに応じた事業の実施が必要である。	
次年度以降の考え方(担当課)	・高齢化の進展に伴い、高齢者世帯や独居高齢者が増加しており、在宅で安心して生活できるよう、ニーズに応じた事業に取り組む。 ・高齢者福祉に関する事業等をまとめた冊子「高山市の高齢者福祉」等を活用し、市民への制度周知及び利用促進を図る。	

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	31305 高齢者在宅生活支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	福祉部高年介護課	
枝番・内容	1 認知症高齢者等個人賠償責任保険料		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	3	民生費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	社会福祉費	内線			2953
		<input type="checkbox"/>		目		3	老人福祉費	作成年月			R2.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進し、認知症の人とその家族の経済的・精神的負担の軽減を図る。	概要	・徘徊のある認知症高齢者等が鉄道事故等を起こし鉄道会社から損害賠償を請求された場合などについて、賠償金を補償できる保険に市が加入する。
----	--	----	---

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	150
主な経費	・個人賠償責任保険加入による認知症高齢者等への支援	
	対前年度増減額(当初予算)	
		150

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	150
	繰越	
	補正等	
	最終	150
決算額		69
対前年度増減額(決算)		69

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	266
主な経費	・個人賠償責任保険加入による認知症高齢者等への支援	
	対前年度増減額(当初予算)	
		116

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・認知症高齢者等SOSネットワークの構築 ・認知症高齢者等SOSネットワークに登録した方について、市が契約者となって個人賠償責任保険に加入 補償限度額 1億円	
[スケジュール] ・6月 認知症高齢者等SOSネットワーク運用開始 個人賠償責任保険料の助成開始	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・令和元年6月から認知症高齢者等SOSネットワークを開始し、登録者を対象として個人賠償責任保険に加入 加入者数 54名	
[評価等] ・徘徊のおそれがある認知症の方及び介護する家族の精神的・経済的負担の軽減につながった。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・認知症高齢者等SOSネットワークに登録した方について、市が個人賠償責任保険に加入 補償限度額 1億円	
[スケジュール] ・引き続き受付、登録を実施	

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	31305 高齢者在宅生活支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	福祉部高年介護課	
枝番・内容	2 高齢者世帯の雪下ろし等に対する助成		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	3	民生費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	社会福祉費	内線			2953
		<input type="checkbox"/>		目		3	老人福祉費	作成年月			R2.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、屋根の雪下ろしが困難な高齢者世帯に対する助成を行う。	概要	・ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯のうち、屋根の雪下ろしが困難な世帯に対して経費を助成する。
----	--	----	---

[参考] H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	4,000
主な経費	・高齢者世帯の雪下ろし等に対する助成	
対前年度増減額(当初予算)		4,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	4,000
	繰越	
	補正等	
	最終	4,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	4,000
主な経費	・高齢者世帯の雪下ろし等に対する助成	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 親族や近隣住民の支援が受けられない高齢者世帯の屋根の雪下ろしにかかる経費を助成する。 ・対象世帯: 65歳以上又は高齢者のみの世帯 市民税年額150千円超及び生活保護世帯は対象外 ・補助率・年間助成限度額 市民税非課税世帯 3/3 120千円 市民税年額30千円以下 2/3 80千円 市民税年額30千円超～150千円未満 1/3 40千円 ※1回あたりの補助上限 除雪 30千円×補助率 除排雪 50千円×補助率	
[スケジュール] ・12月～ 助成申請受付開始	

事業実績・評価等	
[事業実績] ・助成決定世帯 43世帯 [評価等] ・降雪量が少なく、助成実績はなかった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・支援が必要な世帯に対し制度を周知し、利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 親族や近隣住民の支援が受けられない高齢者世帯の屋根の雪下ろしにかかる経費を助成する。 ・対象世帯: 65歳以上又は高齢者のみの世帯 市民税年額150千円超及び生活保護世帯は対象外 ・補助率・年間助成限度額 市民税非課税世帯 3/3 120千円 市民税年額30千円以下 2/3 80千円 市民税年額30千円超～150千円未満 1/3 40千円 ※1回あたりの補助上限 除雪 30千円×補助率 除排雪 50千円×補助率	
[スケジュール] ・12月～ 助成申請受付開始	

事業シート(平成31年度決算)

事業名	31310 外出支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・病院や買い物に気軽に出かけられるような公共交通網の充実に努めます。 また、バス停などにおいては雨風・降雪などが防げる工夫を路線バス会社・道路管理者、バス停周辺住民などと連携しながら検討します。
			款	3	民生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	社会福祉費	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画				
			目	3	老人福祉費						
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が在宅で安心して自立した生活を維持できるよう、受診や在宅福祉サービス利用に必要な外出を支援する。 高齢者等の日常生活をサポートするため外出を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 支所地域在住の一般の公共交通機関の利用が困難な要支援・要介護認定者等に対し、医療機関や在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を行う。 「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券の購入に対し、その費用の一部を補助する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		23,400	15,377	18,400	18,400	14,787	△ 590
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,700	1,300	900	900	900	△ 400
一般財源		21,700	14,077	17,500	17,500	13,887	△ 190
個票枝番	主な事業内容						
	公共交通機関の利用が困難な高齢者等の移送用車両に係る送迎・支援	21,000	13,805	16,000	16,000	13,659	△ 146
	地域乗合バスシルバー定期券購入に対する助成	2,400	1,298	2,400	2,400	1,128	△ 170

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
17,225	17,400	17,400	△ 1,000
	200	200	△ 700
17,225	17,200	17,200	△ 300
査定額	説明		
16,000			
1,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援: 利用対象者に対して、当事業の委託先である高山市社会福祉協議会が、通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を実施 延べ利用者数 7,693人 登録者数 367人 地域乗合バス助成: 「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券(4,110円)の購入に対し、その費用のうち2,000円の補助を実施 利用実績649件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 支所地域と高山地域の利用者負担の均衡について検討する必要があるが、支所地域と高山地域では、医療機関等が遠方であるなど公共交通等の実情を考慮する必要がある。 遠距離利用の高齢者などの利用ニーズは高いが、利用者が固定される傾向にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 利用目的の範囲及び利用者負担、委託内容の検討を行う。 利用者ニーズは高く、高齢者等の外出や社会参加を促進するため、今後も継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援: 利用対象者に対して、当事業の委託先である高山市社会福祉協議会が、通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を実施 延べ利用者数 7,526人 登録者数 339人 地域乗合バス助成: 「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券(4,190円)の購入に対し、その費用のうち2,000円の補助を実施 利用実績564件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 支所地域と高山地域の利用者負担の均衡について検討する必要があるが、支所地域と高山地域では、医療機関等が遠方であるなど公共交通等の実情を考慮する必要がある。 遠距離利用の高齢者などの利用ニーズは高いが、利用者が固定される傾向にある。 委託内容を検討するため、他市の先進事例の情報を収集し、支所地域とも共有した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 通院や買い物などで利用しやすいサービスとするため、委託内容の検討を行う。 利用者ニーズは高く、高齢者等の外出や社会参加を促進するため、今後も継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	31315 高齢者いきがいきづくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・障がい児(者)の方、そして、子どもから生涯現役世代(高齢者)までの全ての市民の皆さんに、社会活動やまちづくりに参加できる機会を提供し、刺激といきがいにあふれた暮らしの中で、人間力が向上する取り組みを進めます。
			款	3	民生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	社会福祉費		根拠計画		老人福祉計画・介護保険事業計画		
			目	3	老人福祉費						
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 余暇を利用した野菜の栽培や他の農園利用者とのふれあいを通じて、健康で明るく生きがいのある生活を送れるようにする。 高齢者等の健康増進や心身のリフレッシュを図る。 地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進を図る。 敬老の日にあわせて祝品を贈呈し、高齢者の長寿を祝う。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園を無償で貸与する。 ・65歳以上及び身体障害者手帳等を所有する市民に対し、指定温泉保養施設等利用料の半額(年間20枚の助成券を交付)を助成する。 ・高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。 ・安否確認を兼ねて、手渡し等による敬老祝品配付を行う。 ・健康長寿ふれあいまちづくり推進委員会による協議、高齢者福祉全般にかかる制度周知等
----	---	----	---

総会計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じている市民の割合	46.3%	38.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	46,405	41,360	46,445	46,566	39,772	△ 1,588	
特定財源							
国費()							
県費(高齢者在宅福祉事業費2/3)	4,600	4,865	4,600	4,600	4,964	99	
その他(福祉健康基金繰入金、県市町村振興協会交付金 他)	520	12,725	730	730	14,686	1,961	
一般財源	41,285	23,770	41,115	41,236	20,122	△ 3,648	
個票枝番	主な事業内容						
	いきいき健康農園の管理運営(5箇所)	801	735	831	952	856	121
	老人クラブ活動費助成	12,500	12,392	12,400	12,400	12,226	△ 166
	温泉保養施設等利用費助成	30,000	25,376	30,000	30,000	23,853	△ 1,523
	敬老祝品の贈呈	1,000	805	1,100	1,100	910	105

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		41,745
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
75,115	41,745	41,745	△ 4,700	
4,951	4,600	4,600	0	
624	630	630	△ 100	
69,540	36,515	36,515	△ 4,600	
査定額	説明			
831				
12,400				
27,000				
1,100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園(263区画)を260人に貸与 ・毎月、一か月分の利用券を取りまとめ、補助金受領を代行する各温泉保養施設等に補助 温泉施設利用券交付者数10,044人 ・市連合長寿会に対する支援(会員及び各区、単位クラブに対する活動助成) ・米寿の方には民生児童委員の協力を得て、訪問し安否確認とともに祝い品を贈呈 700人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブは、高齢者数の増加に対して新規加入者が少なくなっており、連合長寿会加入者や単位クラブの減少が課題となっている。 ・健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、連合長寿会への加入メリットを活かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。 ・各事業の事務の省力化とコスト抑制について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ活動費補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。 ・温泉保養施設利用券の交付方法については、事務の効率化について検討する。 ・高齢者福祉に関する制度等をまとめた「高山市の高齢者福祉」・「福祉と保健」等を活用し、引き続き市民への制度周知に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園(263区画)を260人に貸与 ・毎月、一か月分の利用券を取りまとめ、補助金受領を代行する各温泉保養施設等に補助 温泉施設利用券交付者数9,867人 ・市連合長寿会に対する支援(会員及び各区、単位クラブに対する活動助成) ・米寿の方には民生児童委員の協力を得て、訪問し安否確認とともに祝い品を贈呈 756人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブは、高齢者数の増加に対して新規加入者が少なくなっており、連合長寿会加入者や単位クラブの減少が課題となっている。 ・健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、連合長寿会への加入メリットを活かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ活動費補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。 ・高齢者福祉に関する制度等をまとめた「高山市の高齢者福祉」や「高山市の福祉と保健」等を活用し、引き続き市民への制度周知に努める。 ・温泉保養施設等利用費助成を始め、元気な高齢者を対象とした施策を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	31316 介護人材確保事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・社会福祉の充実を目指し、潜在的保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)登録制度の利活用を進めます。
			款	3	民生費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	社会福祉費		根拠計画		老人福祉計画・介護保険事業計画		
			目	3	老人福祉費						
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・介護事業所への新規就労者の掘り起こしや介護のイメージアップ等により、不足する介護人材を確保する。	概要	・介護人材の確保促進に対する支援 ・介護職員初任者研修などの受講に対する支援 ・介護支援専門員再就業に対する支援(R2~) ・介護ロボットの導入に対する支援(R2拡充)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,000	579	5,000	5,000	711	132
特定財源	国費()						
	県費(介護人材確保促進事業補助金1/2)	0	187				
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	200	100	300	300	100	0
一般財源		4,800	292	4,700	4,700	611	132
個票枝番	主な事業内容						
	介護人材の確保に対する支援	2,000	523	2,000	2,000	393	△ 130
	介護ロボットの導入に対する支援	3,000	56	3,000	3,000	318	262

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		5,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
29,720	5,400	5,400	400	
29,720	3,800	1,600	1,300	
29,720	3,800	3,800	△ 900	
査定額	説明			
2,400				
3,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・介護人材の確保及び離職防止を目的とした事業に対する助成 2件 ・介護職員初任者研修の受講に要した経費に対し、40千円を上限に助成 9件 ・介護施設における介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など介護従事者の介護環境の改善を図るために導入する介護ロボット購入経費に対する助成 1件
評価等	・不足する介護人材の確保に向け、県や近隣市村及び関係団体と連携した人材確保策の検討が必要である。 ・制度の利用促進に向け、介護事業所等を通じた事業のPRIに努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・介護人材の確保及び離職防止を目的とした事業に対する助成 2件 ・介護職員初任者研修の受講に要した経費に対し、40千円を上限に助成 2件 ・介護施設における介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など介護従事者の介護環境の改善を図るために導入する介護ロボット購入経費に対する助成 3件
評価等	・不足する介護人材の確保に向け、県や近隣市村及び関係団体と連携した人材確保策の検討が必要である。 ・制度の利用促進に向け、より利用しやすい制度への改善や、介護事業所等を通じた事業のPRIに努める。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	31320 高齢者等住宅改造助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・市民・地域と行政が一体となって推進する協働のまちづくりにより、地域共助を強化し、地域全体で生涯現役世代(高齢者)、介護世帯などを支えられる地域環境の整備を進めます。
			款	3	民生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	社会福祉費		老人福祉計画・介護保険事業計画				
			目	3	老人福祉費		根拠計画				
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢者の日常生活に支障の少ない住宅整備を促し、住み慣れた住宅で安心して健やかな生活ができるように生活の維持向上と自立の助長を図る。	概要	・高齢者世帯等の住宅改造及び屋根融雪装置設置に対する助成 ・住宅のバリアフリー改修に対する助成(H30～)
----	--	----	--

総会計画等	主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		133,232	104,605	132,880	156,139	149,194	44,589
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、県市町村振興協会交付金)	20,000	33,726	18,800	18,800	38,023	4,297
一般財源		113,232	70,879	114,080	137,339	111,171	40,292
個票枝番	主な事業内容						
	住宅改修、屋根融雪装置設置に対する助成	32,000	38,083	32,000	32,000	38,683	600
	住宅のバリアフリー改修に対する助成	100,000	65,513	100,000	123,000	109,372	43,859

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		132,880
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
131,847	132,880	132,880	0	
	2,000	2,000	△ 16,800	
131,847	130,880	130,880	16,800	
査定額	説明			
32,000				
100,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・住宅改修 60件、住宅改造自己負担助成 177件、屋根融雪 58件 ・高齢者住宅バリアフリー改修助成 297件
評価等	・要介護状態にある高齢者が住宅改造を行うことにより、在宅生活の継続、安全安心な生活の確保ができています。 ・高齢者の増加に伴い、制度利用の増加が見込まれる。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・高齢化の進展により、事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。 ・高齢者の自立した生活を維持するため、予防的に実施する住宅のバリアフリー化を一層促進する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・住宅改修 80件、住宅改造自己負担助成 168件、屋根融雪 43件 ・高齢者住宅バリアフリー改修助成 389件
評価等	・要介護状態にある高齢者が住宅改造を行うことにより、在宅生活の継続、安全安心な生活の確保ができています。 ・高齢者の増加に伴い、制度利用の増加が見込まれる。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・高齢化の進展により、事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。 ・高齢者の自立した生活を維持するため、予防的に実施する住宅のバリアフリー化を一層促進する。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	31345 老人福祉施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・障がい児(者)の方、そして、子どもから生涯現役世代(高齢者)までの全ての市民の皆さんに、社会活動やまちづくりに参加できる機会を提供し、刺激といきがいにあふれた暮らしの中で、人間力が向上する取り組みを進めます。
			款	3	民生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	社会福祉費		老人福祉計画・介護保険事業計画				
			目	3	老人福祉費		根拠計画				
担当課	福祉部 高年介護課	内線	2953								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老人福祉施設を適切に運営及び維持管理することで、老人福祉施設利用者等の安全快適な施設利用の促進を図る。	概要	・老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営、維持管理業務を指定管理者に委託 ・施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新
----	--	----	---

総会計画等	主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	102,366	101,573	103,554	105,233	104,882	3,309
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(老人福祉センター使用料 等)	804	906	804	804	907	1
一般財源	101,562	100,667	102,750	104,429	103,975	3,308
個票枝番	主な事業内容					
老人福祉施設の管理運営(小修繕含む)	84,366	84,263	87,054	87,054	87,009	2,746
施設整備	18,000	17,310	16,500	18,179	17,873	563

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		109,034
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
127,134	109,034	109,034	5,480	
866	804	804	0	
126,268	108,230	108,230	5,480	
査定額	説明			
87,534				
21,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営等 21施設の維持管理業務を指定管理者へ委託 利用者数 65,319人 ・朝日福祉センター等空調熱源機器更新工事、丹生川福祉センター等冷温水機修繕工事 他
評価等	・指定管理者により事業効率化やコスト縮減等が図られており、民間に蓄積されたノウハウを活かした円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理が今後も必要である。 ・施設の老朽化により改修箇所が増加傾向にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営等 21施設の維持管理業務を指定管理者へ委託 利用者数66,949人 ・山王福祉センター給湯機器更新工事、久々野福祉センター給湯機器更新工事等
評価等	・指定管理者により事業効率化やコスト縮減等が図られており、民間に蓄積されたノウハウを活かした円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理が今後も必要である。 ・施設の老朽化により、改修の必要な箇所が増加傾向にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに